

名古屋市内の小規模介護事業所・復職者の皆さまへ

基本から始める人も学びなおしたい人も

介護技術研修

受講生からお喜びの声をいただきました

受講料
無料

認知症の方の立場になって考える事、1人の「人」として関わる事を学びました

技術に自信が付き、利用者さんに寄り添って前向きに介護できるようになりました

利用者さんの小さな変化に気づくこと、研修で学んだことを大事にして、明日からがんばります



研修概要

1日の講習の流れ(すべてのコースは1日で完結いたします)

	午前 9:30~11:30 (座学)	午後 12:30~16:30 (演習)
① 身体介護を中心とした介護技術 全5コース (詳細は2頁目)	①-1、①-2、①-3、①-4、①-5、②-1 コース共通 介護従事者としての心構え ● 介護の仕事が必要な背景 ● 介護職の役割と介護保険制度を学ぶ ● 社会人としての接遇・マナーを学ぶ ● 不適切ケア、虐待・身体拘束防止、個人情報・プライバシー ● チームケアの必要性および法令に基づくサービス提供について ● 見守りの仕方、観察のポイント	①-1 歩行・移動・移乗 ①-2 体位変換・起き上がり ①-3 食事・口腔ケア ①-4 排泄ケア ①-5 清潔・着替え ②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術
	②-2 コース 事例検討からやさしく学ぶ 認知症とともに生きる方の理解 ②-3 コース 実践を通して学ぶ 認知症と認知症予防のプログラムの理解 ● 1日を通して、ワークが中心のコースとなります	複数人の講師が手厚く指導します!

対象者

- 所在地が名古屋市にある介護保険事業所に従事する方。
(小規模介護事業所・復職者の方優先。優先条件の詳細は別紙に記載しております。)
- 昨年度受講された方も受講可能です。(※ただし定員に空きがある場合のみ。)

Webでのお申込
はコチラから!

申込方法

- 添付の受講申込書でFAX 送信、もしくは右記のQRコードからお申し込みください。
- 各研修開催の前月20日頃までに、受講の可否をFAXにてお送りいたします。

FAX送信先 052-242-3020 (研修事務局: 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター)

ホームページ <https://www.n-fukushi.ac.jp/recurrent/biz/nagoya/kaigo/>



研修内容

①身体介護を中心とした介護技術

①-1 歩行・移動・移乗

定員:30名

身体に関する基本的な理解から転倒のリスクの高い脳血管障害やパーキンソン症候群などの利用者を想定した介護について学びます。自立支援の考えを持ちながらも安全や介護者の身体を守る視点も重視した歩行・移動・移乗に関する介護技術について演習を通して学びます。

①-2 体位変換・起き上がり

定員:24名

環境整備を整える意義から高齢者の生活空間の整え方を学びます。また、ベッド上の利用者の身体の向きを変える方法、起き上がり、安定した座位姿勢について演習を通して学びます。

①-3 食事介助・口腔ケア

定員:36名

食事介助に必要な摂食嚥下のメカニズムから座位姿勢の保持、そして、それらの知識を踏まえた食事介助を理解します。また、窒息や誤嚥を予防するための食事時の観察の視点や対処、口腔ケアについても演習を通して学びます。

①-4 排泄ケア

定員:24名

排泄行為は生活習慣や羞恥心と関連し、尊厳に影響するために配慮が必要になります。また、排泄は健康状態を把握しやすく感染リスクも高いため、排泄物の取り扱いについて対策が必要となります。基本となる排泄行為のプロセスを理解し、ポータブルトイレの介助、おむつ交換の一連の流れを学習します。

①-5 清潔・着替え

定員:24名

清潔援助は人が心地よく生活する上でも感染症予防の観点からも重要になります。清潔援助の意義を踏まえて、安全で苦痛を最小限に抑えた衣類交換などの方法について演習を通して学びます。

②認知症の理解とコミュニケーション技術

②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術

定員:40名

利用者を認知症の人ではなく、1人の「人」として尊重し、利用者寄り添った介護を学びます。認知症の種類や中核症状など疾病を理解し、認知症ケアに関する知識を身につけます。利用者の体験している世界を理解し、介護の質の向上を目指します。

②-2 事例検討からやさしく学ぶ 認知症とともに生きる方の理解

定員:40名

認知症とともに生きる方、1人ひとりに合わせたコミュニケーションの取り方、関わり方から自己決定支援について、パーソン・センタード・ケアの考えに基づき、様々な事例を通して学びます。

②-3 実践を通して学ぶ 認知症と認知症予防のプログラムの理解

定員:40名

エビデンスに基づいた認知機能の低下予防のためのプログラムを学びます。認知症を理解しながら、現場でのレクリエーションの時間などに行えるプログラムについて、実践を通して学びます。

お問合せ

日本福祉大学 社会福祉総合研修センター(名古屋市小規模介護事業所・復職者支援研修事業委託団体)
TEL:052-242-3069 FAX:052-242-3020 受付時間:月～金10:00～17:00(祝日、夏季休業、年末年始を除く)

① 身体介護を中心とした介護技術

日程	コース	会場	1次申込〆切
<input type="checkbox"/> 6月18日(木)	①-1 歩行・移動・移乗	日本福祉大学名古屋キャンパス	5月10日(日)
<input type="checkbox"/> 7月18日(土)	①-2 体位変換・起き上がり	日本福祉大学名古屋キャンパス	6月10日(水)
<input type="checkbox"/> 7月31日(金)	①-3 食事介助・口腔ケア	ウインクあいち	6月10日(水)
<input type="checkbox"/> 8月26日(水)	①-4 排泄ケア	日本福祉大学名古屋キャンパス	7月10日(金)
<input type="checkbox"/> 9月1日(火)	①-5 清潔・着替え	日本福祉大学中央福祉専門学校	8月10日(月)
<input type="checkbox"/> 9月17日(木)	①-1 歩行・移動・移乗	imy会議室	8月10日(月)
<input type="checkbox"/> 10月16日(金)	①-2 体位変換・起き上がり	日本福祉大学名古屋キャンパス	9月10日(木)
<input type="checkbox"/> 10月21日(水)	①-3 食事介助・口腔ケア	日本福祉大学名古屋キャンパス	9月10日(木)
<input type="checkbox"/> 11月20日(金)	①-4 排泄ケア	日本福祉大学名古屋キャンパス	10月10日(土)
<input type="checkbox"/> 11月27日(金)	①-5 清潔・着替え	日本福祉大学中央福祉専門学校	10月10日(土)
<input type="checkbox"/> 12月10日(木)	①-1 歩行・移動・移乗	ウインクあいち	11月10日(火)

② 認知症の理解とコミュニケーション技術

日程	コース	会場	1次申込〆切
<input type="checkbox"/> 6月25日(木)	②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術	名古屋港ポートビル	5月10日(日)
<input type="checkbox"/> 8月21日(金)	②-2 事例検討からやさしく学ぶ 認知症とともに生きる方の理解	日本福祉大学名古屋キャンパス	7月10日(金)
<input type="checkbox"/> 9月29日(火)	②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術	日本福祉大学名古屋キャンパス	8月10日(月)
<input type="checkbox"/> 10月3日(土)	②-3 実践を通して学ぶ 認知症と認知症予防のプログラムの理解	日本福祉大学名古屋キャンパス	9月10日(木)
<input type="checkbox"/> 11月5日(木)	②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術	日本福祉大学名古屋キャンパス	10月10日(土)
<input type="checkbox"/> 12月4日(金)	②-2 事例検討からやさしく学ぶ 認知症とともに生きる方の理解	ウインクあいち	11月10日(火)

申し込みを希望する日程の□にチェックをしてください。

(例)



法人名		事業所名	
事業所種類※		事業所利用定員※ 名	
事業所住所※ 〒			
事業所TEL・FAX※ TEL		FAX	
メールアドレス※		担当者名※	
受講者氏名		性別	①介護に関する資格の有無
フリガナ			資格名称 (無) (有)
②現在の介護事業所への就職年月	③他の介護事業所での介護経験	④直前の介護事業所の退職年月	⑤介護業務 総従事年数
例) 2025年1月 □年 □月	無 ⑥をご回答ください。	例) 2024年11月 □年 □月	例) 2年1ヶ月 □年 □月
⑥本事業について、何を見て知りましたか？ 当てはまる項目先頭の□に✓でチェックしてください。(複数回答OK)			
<input type="checkbox"/> 郵便送付(チラシ) <input type="checkbox"/> FAX送付(チラシ) <input type="checkbox"/> NAGOYA かいごネットHP <input type="checkbox"/> 日本福祉大学社会福祉総合研修センターHP <input type="checkbox"/> その他()			

※2名目の申込みからは※部分の記入を省略可能

研修対象者について

- 所在地が名古屋市にある介護保険事業所に従事する方が対象です。
- 応募者多数で抽選になる場合、以下の「①小規模介護事業所」又は「②復職者」欄に該当する方を優先します。

①小規模介護事業所の種類

以下の事業所に従事されており、介護関係業務の従事期間の総計がおおむね3年を超えない方。また、社会福祉士、介護福祉士、介護職員初任者研修課程、実務者研修、介護支援専門員、精神保健福祉士の資格を有しない方。

居宅サービス (介護予防含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問入浴介護 ● 通所介護 ● 通所リハビリテーション ● 特定施設入居者生活介護 (定員29名以下のものに限る。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 短期入所生活介護* ● 短期入所療養介護* <p>※介護福祉施設サービス、介護保健施設サービス又は介護医療院サービスと併設されているものを除く。</p>
地域密着型サービス (介護予防含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域密着型通所介護 ● 認知症対応型通所介護 ● 小規模多機能型居宅介護 ● 認知症対応型共同生活介護 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護小規模多機能型居宅介護 ● 地域密着型特定施設入居者生活介護 ● 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
介護予防・ 日常生活支援総合事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 予防専門型通所サービス ● ミニデイ型通所サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運動型通所サービス

②復職者支援の対象事業所の種類

以下の事業所での従事期間がおおむね2年未満、かつ、当該従事期間前に介護関係業務の経験があるが、当該従事期間前おおむね1年間に介護関係業務に従事したことがない方。※「介護」に関する資格の有無は問いません。

居宅サービス (介護予防含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問介護 ● 訪問入浴介護 ● 訪問看護 ● 訪問リハビリテーション ● 通所介護 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通所リハビリテーション ● 特定施設入居者生活介護 ● 短期入所者生活介護 ● 短期入所療養介護
地域密着型サービス (介護予防含む)	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間対応型訪問介護 ● 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ● 地域密着型通所介護 ● 認知症対応型通所介護 ● 小規模多機能型居宅介護 	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症対応型共同生活介護 ● 看護小規模多機能型居宅介護 ● 地域密着型特定施設入居者生活介護 ● 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
施設サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護老人福祉施設 ● 介護老人保健施設 	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護医療院
介護予防・ 日常生活支援総合事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 予防専門型訪問サービス ● 生活支援型訪問サービス ● 予防専門型通所サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ● ミニデイ型通所サービス ● 運動型通所サービス

③その他

定員に空きがある場合は、上記①・②に該当しない方でもご受講いただけます。
ただし、名古屋市内の介護保険事業所に従事する方に限ります。